

インドネシアのカカオバリューチェーンの推進

事業概要

インドネシアはコートジボワール、ガーナに次ぐ世界第3位のカカオ生産国であり、カカオ農業は100万世帯以上が従事する重要な産業。一方で、インドネシアのカカオ農地の多くは小規模農家が所有しており、生産効率や品質の低さが課題となっている。本事業はシンガポールに拠点を置くOlam International Limitedのインドネシア子会社（Olam Indonesia及びBT Cocoa）が有するカカオ工場の拡張による生産能力の増強に加えて、小規模農家向け貸付等を支援することで、同国のカカオ産業のバリューチェーンを強化し、小規模農家によるカカオ生産・取引量の増加を図り、小規模農家の所得向上に寄与するとともに、同国の輸出促進を図るもの。

インパクト

1. 地域間格差削減・貧困削減支援

インドネシアは地域間格差が課題となっており、カカオ産地は貧困率の高いスラウェシ地域に集中している。本事業を通じた小規模農家支援は、地域間格差の是正や貧困削減にも寄与する。

2. 輸出促進

インドネシアのマクロ経済においては、貿易収支の改善が課題となっており、本事業は農業分野における輸出振興にもつながるもの。

